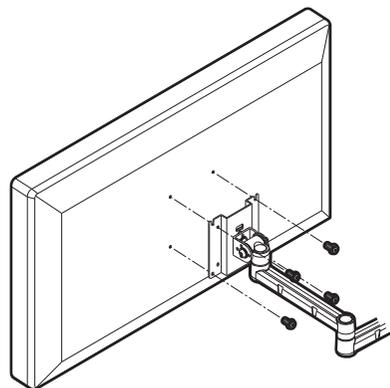


### 3. 液晶ディスプレイへの金具の取り付け

- 液晶ディスプレイに付属のスタンド・ネジ等が取り付けられている場合は、液晶ディスプレイ本体の説明書に従い、取り外してください。
- 液晶ディスプレイに壁掛金具を取付ネジ(M4×12) 4本でしっかり取り付けしてください。

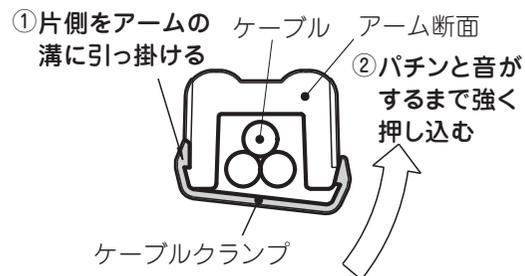
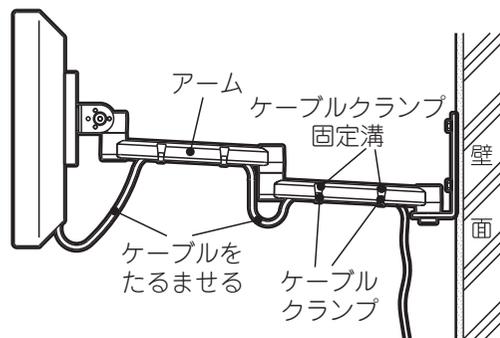


#### お願い

液晶ディスプレイが傷つかないように、クッション等を敷いて保護してください。ネジの長さが合わない場合は、液晶ディスプレイの説明書に記載されている推奨するネジを必ずご使用ください。

### 4. ケーブル配線

- 配線する際は、アームを伸ばした状態でケーブルをたるませて配線してください。
- ケーブルは、アーム下側の空間に収納し、ケーブルクランプで固定してください。ケーブルクランプは片側をアーム側面の溝に引っ掛けた状態でパチンと音がするまで、強く押し込んでください。
- 配線後、ケーブルクランプが確実に固定されていることを確認してください。



#### お願い

ケーブルがアーム下側の空間に納まらない場合は、ケーブルクランプで固定はできません。市販の結束バンドで固定してください。

#### 注意

ケーブルクランプを外す場合は、⊖ドライバーなどで金具が傷つかないように外してください。素手ではずすと爪が割れるなど、ケガをする恐れがあります。

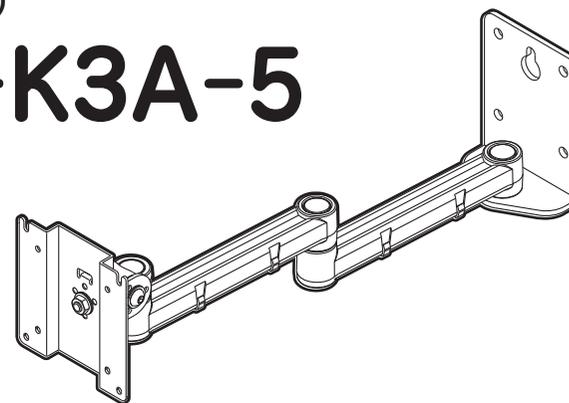
●この製品にお気付きの点がありましたら、外箱側面の製品番号もお知らせください。

自然保護のため、この説明書はリサイクルペーパーを使用しています。

### 据付説明書

液晶ディスプレイ壁掛け金具  
(アームタイプ)

型式 **FA-K3A-5**



- この据付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 据付工事完了後、必要な時にお読みいただけるよう、大切に保管してください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

- ご使用前に必ず次のご注意をよくお読みの上、安全に正しくお使いください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

**警告** 「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。

### 安全のため特に注意してください

#### 警告

- 取り付け方法、取り付け方向は、この説明書に従って施工してください。落下によるケガや破損の原因となります。
- 取り付け工事は、確実な作業が必要ですので、販売店や工事店にご相談ください。
- 取り付けの際には、金具等に指などはさまないようにご注意ください。
- 取り付ける壁面は十分な強度があることを確認してください。(壁に補強材の入っている部分に取り付けてください)
- 取り付け金具には他の荷重をかけないでください。落下によるケガや破損の原因となります。
- 取り付け部品の改造・変更は行わないでください。落下によるケガや破損の原因となります。

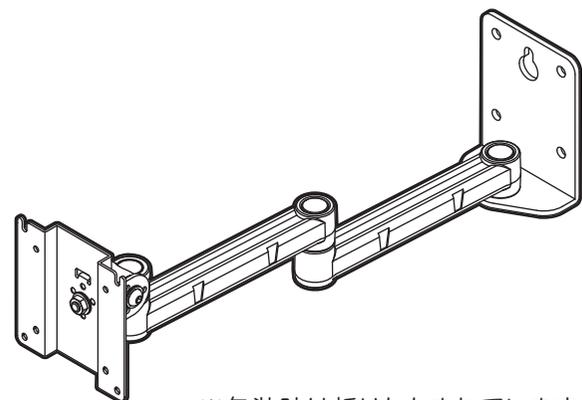
**日晴金属株式会社**

本社 大阪市住吉区我孫子1丁目2番10号  
TEL.06-6696-2222  
http://www.nisseikinzoku.co.jp

# 構成部品

確認してください

■壁掛金具 ……1個

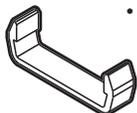


※包装時は折りたたまれています。設置時に図の様に伸ばしてからご使用ください。

■取り付けねじ(M4×12) ……4本



■ケーブルクランプ ……4個



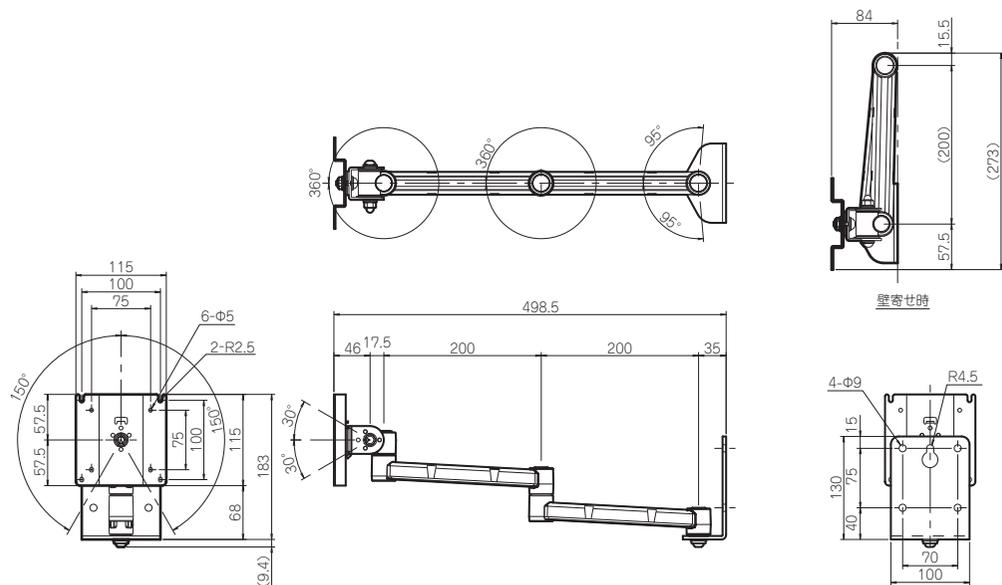
■クッション……………2枚



※上記員数は1セットの員数です。1ケースに4セット包装されています。

# 外形寸法図

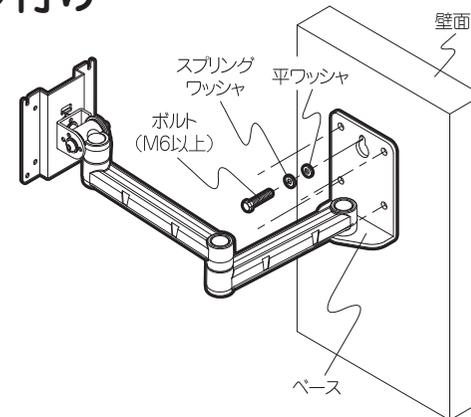
[単位：mm]



# 据付工事手順

## 1. 壁面へのベースの取り付け

- 液晶ディスプレイの質量をご確認してください。(5kg以下のこと)
- 外形寸法図をご参照のうえ、十分な強度のある壁面に4ヶ所以上で取り付けてください。強度が不足する場合は十分な補強を行ってください。
- 最初に上部中央の○孔をねじ止めしてください。
- 水平器などを使い、ベースの傾きを修正後、残りの孔をねじ止めしてください。

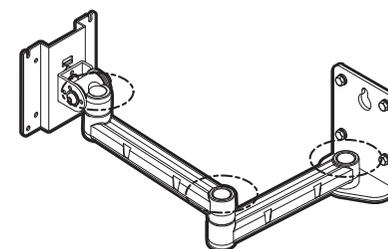


### お願い

壁面への固定は、市販の「呼び径6mm以上」のねじをご使用ください。壁面がコンクリートなどの場合は、孔位置を決めて、「呼び径6mm以上」のアンカーを埋め込んでください。  
※壁面からのボルトの飛び出し量は、15mm～20mmにしてください。

### 注意

左図に示している金具の可動部分にあるキャップを外すとナットがありますが、絶対に増し締めやゆるめないでください。部品の破損・動作不良の原因になります。



## 2. クッションの貼付け

- 壁面と壁掛け金具の接触する部分にクッションを貼付してください。

